







島ヤギ肉
さしみ用・お汁用
注文うけます
電話 853-1848

肉山羊売ります
☎853-1848
山羊小屋入口

ヤギフン
売ります 400円







































屋良味完
屋良味マカト
屋良味カト
真喜志成
名流血果
真喜志成
真喜志ノ
津波カ
屋良カ

比喜喜伴
宮平守能
屋良朝和
屋良正夫
屋良朝和
真喜志由
屋良朝和
屋良長文

國吉眞儀
國吉カニ
國吉眞幸
國吉眞崇
屋良山ツ子
屋良山介
屋良山吉
金城八

瑞慶山良勝
真喜志康徳
豊里千
真喜志裕
屋良才ノ
屋良朝祥
屋良朝剛
妹

真喜志真一
瑞慶山ツル
瑞慶山良正
瑞慶山良認
真喜志康篤
真喜志千代
真喜志



名 毅
名 ヨシ子
田 孟昭
田 ウト
田 孟善
田 文
田 修
田 豊
城 カメ
友 寄英次郎
宮 城ツル
宮 城カメ
宮 城能陸
宮 城能俊

本部朝興
伊集ウシ
伊集盛康
伊集盛昭
高江洲カメ
高江洲富昌
高江洲ウト
高江洲カミ
高江洲富子
高江洲富秀
高江洲ツル子
石川磨三
古波倉正雄
古波倉正昌

渡嘉敷直英
渡嘉敷直次
仲尾次盛和
仲尾次ウト
仲尾次盛信
金城ツル
金城多良
金城マカ
金城チヲ
金城チ子
金城チ子
金城カ
金城喜

宮平守謙
宮平守陸
與那覇ウタ
與那覇富美
與那覇貢
仲榮眞兼輝
安里ツル
安里昌徳
安里チヌ子

宮平守謙
宮平守陸
與那覇ウタ
與那覇富美
與那覇貢
仲榮眞兼輝
安里ツル
安里昌徳
安里チヌ子



















山羊買います

●山羊さしみ・山羊汁 販売致します。
バエーバエーバエー牧場 090-7166-2969

梯栝之塔・沖縄昭和高等女学校説明碑文

私立沖縄昭和高等女学校は昭和五年三月十五日、山梨県北巨摩郡江草村出身の同校校長八巻太一氏によって那覇市赤元寺町（現泊町一丁目）に設立された。校舎は赤元寺の近く安里川沿いにあり当時、この付近に梯栝の並木道があって、梯栝の花は本校の象徴にもなっている。校舎は昭和二十年五月、沖縄戦により焼失した。戦後、再建の取り組みが行われたが当時の情勢はそれを許さず、遂に閉校となった。

梯栝之塔は昭和二十五年八月一日、この沖縄戦で犠牲になつた本校同窓生および教職員らの霊を慰めるため、八巻校長並びに同校関係者らによつて旧校舎跡に建立されたが昭和四十六年六月二十三日、ここ梯栝学校跡ゆかりの地に元教職員、同窓生、遺族らの浄財によつて移転建立された



八巻太一校長



梯梧の塔説明碑文

梯梧の塔は、昭和46年6月23日、旧校舎跡より、ゆかりの地に移転。母校の校歌「梯梧の花の緋の誠」にちなんで、「梯梧の塔」として建立された。

昭和20年1月25日より約1月間の看護教育を受け、3月6日、17名(4年生)は、第62師団野戦病院(石5325)へ学徒看護隊として、ナゲーラの壕へ配属された。

4月1日、地上戦が始まるや、日を逐うて前線からの負傷兵が激増、壕の中は、まるで生き地獄、昼夜の別なく看護は続いた。4月29日学友の中から最初の戦死者が出る。ナゲーラの壕は満杯で収容できず、9名は第二分院の匿名の壕へ移動した。壕の中で休息中、飛んで来た破片で学友2名が戦死。戦況の悪化で5月末、武宮、米須、伊原へと後退。米軍は物量にもものを言わせて猛攻撃は止むことなく、伊原の地で6名戦死。病院としての機能を果たす事ができず、6月19日、隊に解散命令が出た。

無念にも学業半ばにして、戦禍の中で犠牲になった、同窓生57名と、職員3名、計60柱が合祀されている。勝利を信じ若くして御霊となった学友の永遠に眠る甬部終焉の地に建立、恒久平和を願いつつご冥福を祈っている。

所在地	糸満市米須1150番地
建立年月日	昭和46年6月23日(移設)
敷地面積	70坪
合祀柱数	60柱
管理者	梯梧同窓会 慰霊奉賛会と永久管理契約済



























1945 3月23日 動員命令

沖縄師範学校女子部
沖縄県立第一高等女学校

1945 5月25日 撤退開始

1945 6月18日 解散命令

ひめゆりの塔 戦没少女の慰霊地

Battle of Major Battle of Okinawa Sites in the Vicinity of Himeyuri

この沖縄本島南端は沖縄戦の際に、多くの市民や学生や兵士が犠牲になり、犠牲となったことにより戦跡が数多く残っています。この地図はそれらの一部を示しています。

There are a number of battle sites and memorials in the southwestern part of Okinawa Island, the area known as the First Battleground where many soldiers, students, and citizens were drawn to die. This map shows only a portion of those Battle of Okinawa sites.

戦時中、戦時中、ひめゆり学徒隊は多くの苦難を乗り越えて戦い続けた。米軍による一方的な空襲の中で、ある者は戦死した。ある者は重傷を負い、そしてある者は手榴弾によって死した。いづれ、どこで亡くなったか、戦時中、多くの学生が「ひめゆりの塔」で、学徒隊の慰霊地として戦没者として追悼されています。

After the Destruction Order, the Himeyuri students had no choice but to go on in a hail of bullets, until they eventually reached the edge of the southern coast. Having nowhere to escape to under the U.S. military's overwhelming, sweeping attack against their enemies, some students were killed by bullets or plunged off the cliff to be drowned by the ocean waves, while others killed themselves by exploding grenades. The remains of some students were never found. The Himeyuri Cemetery stands near the Hara Toshi Suijoku Cave, where many students died from explosives thrown into the cave, and the Sango Cemetery was located on the Arasaki Coast, where many students committed suicide.















